

古き良き伝統をいつまでも

天草高校倉岳校（倉岳町）
2年 鶴戸智公^{ともき}

天草高校倉岳校の剣道部は、例年福岡市で行われる玉竜旗高校剣道大会で、平成21年度は4回戦まで進出しました。また、今年度の天草地区高等学校体育大会でも女子が団体で優勝、個人戦は男女とも3位に入賞するなど、例年好成績を収めています。本校剣道部の特色は、地元の小学生と中学生、そして私たちが一堂に集まり練習を行っていることです。このことで互いの連帯感を強め、技術の向上につなげています。私たちは、この倉岳校剣道部の良き伝統をいつまでも続けられるように、毎日夜遅くまで練習に励んでいます。剣道をしている中学生は、ぜひ本校剣道部への入部の検討をよろしくお願いします。



各大会の賞状を手にする剣道部の皆さん

ぼくのわたしの学校部活自慢



『天草一』の学校を自慢して

河浦中学校（河浦町）
3年 石田真子^{まこ}

本校の生徒会では、『考動～天草一と思える、誇れる学校を～』をスローガンに、特に行事や部活動に力を入れています。先日行われた文化発表会では、各クラスが団結し、参観の皆さんに感動を届けることができました。また、部活動では毎月、生活・技術面の目標をたて、あいさつや規律を身につけた河中生を自慢しています。そして、朝自習では学習クラスマッチがあります。事前学習した分は努力点として加算され、がんばれば全員が合格できるので、励まし合いながら取り組んでいます。これからも、一人ひとりが輝き、夢の実現に向け何事にも精いっぱいがんばる、『天草一』の学校を自慢していきたいです。

天草町の大江地区は、山と海に囲まれた人口約1,100人の小さな地区です。大江地域づくり振興会では、みんな元気な大江（さと）づくりをスローガンに、さまざまな活動を実施しています。中でも、特産の馬鈴薯^{ばれいしょ}をPRしようと実行委員会を組織して毎年5月に開催している「ジャガジャガ祭」は、市内外から多くの人が訪れ、特にメインのジャガイモ掘り取り体験には長蛇の列ができるなど、にぎわいを見せます。また、冬になると、天草口ザリオ館周辺を色とりどりのイルミネーション（電飾）で彩り、訪れた人たちの目を楽しませていきます。このほか、平成22年度からは、できることからやってみようと、新



▲竹に七夕の飾り付けをする部会員

住んでよかったと思える地区を自慢して

大江地域づくり振興会（会長 桑田正造）

な取り組みとして七夕の時期にあわせて地区内の沿道に七夕飾りを設置。このようなことが、昔ながらの風景や伝統行事の大切さを見直すきっかけになっています。これからも、大江にある資源をいかしながら、住民どうしの絆を深め、住んでよかったと思える地区を自慢して、活動していきたいと思っています。

地域づくり
コーナー

人が動く
地域が動く
天草が動く

宝島の健康
よさげ屋

古賀滋子^{しげこ}さん
(天草町下田北・87歳)



◆毎日の楽しみは？

茶道や読書のほか、手紙を書いたり、人とおしゃべりしたりすることが楽しみです。毎週木曜日は、コーラスグループの練習にも参加していて、内にもらず外での刺激を毎日の活力にしています。

◆健康の秘けつは？

筋力トレーニングなどの運動を、毎日欠かさずしています。料理も好きで、自家製野菜を使ったバランスの良い食事を心がけています。また、夫婦仲良く、何でも前向きに考えるようにしています。



稲田かおり^{かおり}さん（五和町御領・20歳）

高校を卒業後、地元就職して2年目になります。そして、今年成人式を迎えおとなの仲間入りをしました。これからは、今まで支えてもらった家族や友人、職場の皆さんなど出会った人たちに感謝し、1人のおとなとして自分の意思をしっかりと持ってがんばりたいと思います。

マル・マル・モリ・モリみんな食べるよ！

浦和保育所（有明町）

浦和保育所（堀田桂子^{けいこ}所長・全園児51人）では、田園地帯の豊かな環境をいかして、野菜作りに挑戦しています。今年は玉ねぎやじゃがいもなどいろんな野菜を植え、給食室から出た生ごみを肥料にして栽培しました。収穫した野菜は、毎日の給食や子どもたちのクッキング活動に使用。同活動では、ほかにもお月見団子やハロウィンのクッキー作りなどを行いました。こうした取り組みを通して、子どもたちは自然の恵みに感謝する気持ちや、食べ物を大切にする気持ちをはぐくみ、「マル・マル・モリ・モリ」みんな食べるようになっていきます。

これからも、元気いっぱい感性豊かな子どもたちの育成を目指していきます。



クッキング活動でお月見団子を丸める子どもたち

このゆびとつまみ



クリスマスおゆうぎ会のようす

子どもたちの明るい将来のために

箱ノ水保育園（本渡町本戸馬場）

箱ノ水保育園（津田博之^{ひろゆき}園長・全園児93人）は、「つよく・やさしく・たくましく」を園訓に、心身ともに健康で明るく元気な子どもに育てることを目指しています。特に、異年齢間の交流が多くアットホームな雰囲気の中で、思いやりの心を大切に過ごしています。少子化が進んでいくこれからの時代で、保育園の役割は健全な子どもの育成はもちろんのこと、保護者や地域との連携・支援など、いろんな事が求められると思います。「3つ子の魂百まで」という言葉の通り、0歳から就学前の各年代でさまざまな経験・体験をすることで、子どもたちの明るい将来のために、いつも笑顔で楽しい保育園でありたいと思います。

